



西山美瑛子 教授

西山美瑛子教授略歴・主要論文

— 略 歴 —

学 歴

- 1928年 9 月 福岡県で生まれる
- 1948年 3 月 福岡県女子専門学校文科卒業
- 1951年 3 月 九州大学（旧制）文学部哲学科社会学専攻卒業
- 1956年 3 月 九州大学（旧制）大学院後期研究奨学生社会学専攻期間終了
- 1957年 3 月 九州大学文学部研究生（社会学専攻）修了

職 歴

- 1956年 4 月 福岡女子大学 非常勤講師
- 1958年 4 月 香蘭女子短期大学 助教授
- 1962年 4 月 神戸女学院大学文学部 専任講師
- 1963年 4 月 神戸女学院大学文学部 助教授
- 1968年 4 月 関西大学社会学部 助教授
- 1970年 4 月 関西大学社会学部 教授
- 1975年 4 月 関西大学大学院社会学研究科博士課程前期課程指導教授
- 1970年 4 月 関西学院大学社会学部 非常勤講師
- 1977年 4 月 関西学院大学社会学部 教授
- 1977年 4 月 関西学院大学大学院社会学研究科博士課程前期課程指導教授
- 1992年 4 月 大学評議員
- 1993年 4 月 関西学院大学社会学部 部長
- 1995年 4 月 大学評議員

— 学会における活動 —

- 日本社会学会会員
- 関西社会学会会員
- 日本労使関係研究協会会員
- 組織学会会員
- 日本労務学会会員
- 産業・組織心理学会会員
- 日本グループ・ダイナミックス学会会員
- 経済社会学会会員
- 日本都市学会会員
- 日本社会福祉学会会員
- 日本社会心理学会会員

日本労働社会学会

社会分析学会

—社会における活動—

- (元) 西宮市情報公開委員会委員
- (元) 西宮市個人情報委員会委員
- (元) 西宮市婦人問題懇話会委員
- (元) 西宮市勤労者福祉委員会委員
- (元) 宝塚市紛争調整委員会委員
- (元) 宝塚市婦人問題懇話会委員
- (元) 大阪府水道事業懇談会委員
- (現在) 兵庫県労働問題懇話会委員

—著 書・学術論文—

(論 文)

- | | | |
|--|---------------------------------------|-----------|
| ソシオメトリの理論と実験的方法 | 社会学評論23号
有斐閣 | 1956年 2 月 |
| 社会集団 | 社会学要論
関書院 | 1957年10月 |
| ソシオメトリの理論的基礎と実験的方法 | 日本グループダイナミックス
学会誌 4 集 理想社 | 1958年 7 月 |
| 作業集団におけるインフォーマル・グループの諸特性 | 教育・社会心理学研究 3 巻 1 号
グループ・ダイナミックス研究所 | 1962年 6 月 |
| 産業集団における人間関係—北九州某工場の例— | 神戸女学院大学論集 9 | 1962年 7 月 |
| 産業組織体におけるソシオメトリの応用 | 神戸女学院大学論集11 | 1964年 6 月 |
| 中企業の職長の人間関係 | 神戸女学院大学論集12 | 1965年12月 |
| 就学前児に関する実態調査 | 調査報告書
尼崎市社会保障審議会 | 1966年 3 月 |
| リーダーシップ | 産業社会学
有斐閣 | 1967年 5 月 |
| 態度変容、思想改造における集団技法について | 社会学評論18巻 4 号
有斐閣 | 1968年 3 月 |
| 伝統産業における近代化とその影響
—灘酒造業における事例調査を中心として— | 社会学への招待
誠信書房 | 1968年 4 月 |
| ダム建設が地元住民に及ぼす影響
—下釜ダム、松原ダム移転者の生活実態意識調査結果から— | 補償実務講習会テキスト
日本ダム協会 | 1970年 3 月 |
| ダム建設が地元住民に及ぼす影響
—下釜ダム、松原ダム移転者の生活実態意識調査結果から— | 月刊ダム日本306号
日本ダム協会 | 1970年 4 月 |
| ダム建設が地元住民に及ぼす影響
—下釜ダム、松原ダム移転者の生活実態意識調査結果から— | ダム建設と水没補償
日本ダム協会 | 1971年 7 月 |
| 労使関係の社会心理 | 人間関係の心理学
ダイヤモンド社 | 1973年 2 月 |

鉄鋼業の現場監督者と紡績業の現場監督者 —監督者、生産労働者意見調査結果から—（上）	関西大学 社会学部紀要 5 巻 2 号	1974年 3 月
紡績労働者—その職場生活と定着意識—	新しい労働者の研究 白桃書房	1974年 5 月
鉄鋼業の現場監督者と紡績業の現場監督者 —監督者、生産労働者意見調査結果から—（中）	関西大学 社会学部紀要 5 巻 2 号	1975年 3 月
資料・社会学研究者からみた米国の 6 工場覚書	関西大学 社会学部紀要 5 巻 2 号	1975年11月
組織社会としての現代	人間存在の社会学的構造 アカデミア出版会	1977年 4 月
組織と人間	現代の社会学的人間論 アカデミア出版会	1977年 4 月
ダム水没移転者の生活問題（Ⅰ） —下釜ダム・松原ダムが水没移転者に与えた影響—	水利科学121号 水利科学研究所	1978年 6 月
ダム水没移転者の生活問題（Ⅱ） —下釜ダム・松原ダムが水没移転者に与えた影響—	水利科学122号 水利科学研究所	1978年 8 月
ダム水没移転者の生活問題（Ⅲ） —下釜ダム・松原ダムが水没移転者に与えた影響—	水利科学123号 水利科学研究所	1978年10月
専門的職業従事者の職業意識構造 —とくに収入満足感の位置に関する実証的考察—	九州大学内藤亮爾教授 退官記念論集社会学研究年報	1980年 3 月
縫製女子労働者の職業生活意識 —労働生活の質に関する意識調査結果からの知見— （日本労務学会研究報告収録）	近畿大学労働問題研究 特集号大学論集12	1982年 2 月
ダム建設が水没移転者と地元社会に与えた影響 —水没移転者の生活・仕事の変化と意識動向—	公共事業と人間の尊重 ぎょうせい	1983年 6 月
職場「小集団活動」に関する多次元解析（Ⅰ） —「小集団活動」に積極的評価、消極的評価に 働く要因カテゴリーと、その潜在的機能に ついての分析と考察—	関西学院大学 社会学部紀要第48号	1984年 3 月
職場「小集団活動」に関する多次元解析（Ⅱ） —「小集団活動」とリーダーシップ—	関西学院大学 社会学部紀要第49号	1984年12月
歯科医療の問題状況と対策	デンタル・イグゼクティブ	1985年 1 月
職場「小集団活動」に関する多次元解析（Ⅲ） —ストレスと小集団活動、ストレスと職場風土、 QWL と諸項目との関係—	関西学院大学 社会学部紀要第52号	1986年 3 月
労働の社会心理	社会心理学を学ぶ人のために 世界思想社	1986年 6 月
日本の小集団活動の社会的・文化的基礎	現代社会心理学 有斐閣	1987年 9 月
組織構造と人間関係	組織の行動科学 福村出版	1988年 9 月
女性労働者と複線型人事管理、柔軟な労働生涯について	社会学評論 有斐閣	1989年12月
女性就業者のライフステージと柔軟な職業生涯について	関西学院大学 社会学部紀要62号	1990年 3 月
女性就業者の職業能力開発について —その社会的背景と課題—	関西学院大学 産研論集第17号	1990年 3 月

日本企業のグローバル化と人材の開発・管理	グローバリゼーション ー日本企業の挑戦ー 清文社	1991年 3 月
女性パートタイマーの賃金と処遇 ー統計調査と事例報告からみた現状と課題ー	関西学院大学 社会学部紀要第63号	1991年 3 月
教育スタッフのための行動科学の基礎知識	企業の教育担当者実務総覧 労務行政研究所	1993年 9 月
阪神・淡路大震災で壊滅、激変した日常の生活とその後の危機管理	社会分析23号 社会分析研究会	1996年 3 月
資料・関西学院大学学生が考えた大震災時における連絡方法	関西学院大学 社会学部紀要74号	1996年 3 月

(共同執筆)

開発の動きと上新田 (大道安次郎・西山美瑛子・倉田和四生)	上新田地区開発計画調査報告書 近畿都市学会	1965年
神戸女学院学生・生徒の宗教的態度と宗教的準拠集団 (溝口靖夫・茂 洋・西山美瑛子)	神戸女学院大学論集13	1966年11月
労働移動と職場生活ー職場の労働者生活の変化ー (嶺 学・西山美瑛子・佐々木 薫)	産業構造と社会変動13 日本評論社	1976年 3 月
産業化と労働問題 (西山美瑛子・牧 正英)	現代社会学 アカデミア出版会	1978年 4 月
歯科医師の行動様式 ー実証的研究のためのパイロット・スタディーー (牧 正英・西山美瑛子・遠藤惣一)	関西学院大学 社会学部紀要第39号	1979年12月
データ分析による歯科医師研究の一試論 (牧・西山・遠藤)	関西学院大学 社会学部紀要第40号	1980年 3 月
某市歯科医師の意識調査結果概要 (牧・西山・遠藤)	歯科医師会雑誌34巻 4 日本歯科医師会	1981年 3 月
歯科患者に関する社会学的実証研究 (Ⅰ) ー通院患者マッピング分析および患者実態・意識調査全体集計結果ー (遠藤・西山・牧)	関西学院大学 社会学部紀要第44号	1982年 3 月
歯科患者に関する社会学的実証研究 (Ⅱ) ー患者実態・意識調査クロス集計分析ー (遠藤・西山・牧)	関西学院大学 社会学部紀要第45号	1982年 3 月
歯科患者に関する社会学的実証研究 (Ⅲ) ー多変量解析および自由意見の KJ 法的分析ー (遠藤・西山・牧)	関西学院大学 社会学部紀要第47号	1983年 3 月
歯科患者の実態・意見調査結果からみた ＜通院パターン＞に関する多次元解析 (遠藤・牧・西山)	歯科医師会雑誌37巻 1 号 日本歯科医師会	1984年 1 月
歯科医療に関する実証的考察：KJ 法的分析 (西山・遠藤・牧)	関西学院大学 社会学部紀要第52号	1986年 3 月
学生アルバイトに関する実証的研究 (その 1) ー関西学院大学社会学部のケース・スタディー (牧・遠藤・西山)	関西学院大学 社会学部紀要60号	1980年10月
歯科医療の現状と課題 社会学的実証研究 ー地域歯科医療に関する歯科医師意見アンケート全国調査結果概要ー (遠藤・牧・西山)	関西学院大学 社会学部紀要65号	1991年11月
地域医療における歯科医師の実態と役割 (西山・牧・遠藤)	歯科医師会雑誌44巻11号 日本歯科医師会	1992年 2 月

学生アルバイトに関する実証的研究（その2） —中京以西アルバイト学生4,000人の実態・意識調査結果の分析— （遠藤・牧・西山）	関西学院大学 社会学部紀要70号	1994年3月
--	---------------------	---------

（翻訳（分担））

Social Psychology of Work Organization by Arnold S. Tannenbaum, タンネンバウム 組織の心理 [企業の行動科学5] 第7章参加、第8章応用	組織の心理 ダイヤモンド社	1969年4月
--	------------------	---------

（その他）

[教育研究開発シリーズ9] 創造性と柔軟思考をめざして —多人数ゼミ運営の試み—	関西学院大学 総合教育研究室	1989年12月
---	-------------------	----------

[解説] シリーズ・戦後労働調査を語る 第4会発表者萬成 博の研究とその業績の方法論的展開について	日本労働社会学会年報 日本労働社会学会	1993年10月
--	------------------------	----------

[担当ゼミ発想訓練記録] 日本の緊急課題とその対策 (PDPC 法による図解図作成とその解説の試み) —西山ゼミ1994年3月研修合宿記録—（非売品）		1994年7月
---	--	---------

阪神・淡路大震災に遭遇して —関西学院大学社会学部学生（西山ゼミ60人）の体験と考察—（非売品）		1996年3月
---	--	---------

（教育関係）

[担当ゼミ発想訓練記録]

1. 西山美瑛子編 日本の緊急課題とその対策（PDPC 法による図解図作成とその解説の試み）—西山ゼミ1994年3月研修合宿記録—（非売品） 1994年7月
※PDPC 法とは1968年東大工学部・近藤次郎教授により問題解決、意思決定の手法として開発されたもので、Process Decision Program Chart 過程決定計画図の略。

2. 西山美瑛子編 阪神・淡路大震災に遭遇して—関西学院大学社会学部学生（西山ゼミ60人）の体験と考察—（非売品） 1996年3月（ここでは「考察」に特性要因図を使用）

[社会学実習Ⅰ、Ⅱの電算機利用の実習成果（調査結果分析報告書）] 社会学部牧ゼミ・遠藤ゼミ・西山ゼミの3ゼミ合同報告書のリスト一覧表

1. 労働生活の質—化学工場の従業員意識調査—（非売品） 1981年1月
2. 労働生活の質—縫製工業 A 社従業員意識調査— [「労働生活の質」調査報告シリーズ No. 2]（非売品） 1982年1月
3. 労働生活の質—縫製工業 TS 社従業員意識調査— [「労働生活の質」調査報告シリーズ No. 3]（非売品） 1983年3月
4. 労働生活の質—縫製工業 A 社従業員意識調査 多変量解析による分析結果— [「労働生活の質」調査報告シリーズ No. 4]（非売品） 1984年3月
5. 労働生活の質—電気機器製造業某社の従業員意識調査 単純、クロス集計、多変量解析による分析結果— [「労働生活の質」調査報告シリーズ No. 5]（非売品） 1985年3月
6. 関西某市歯科患者に対する歯科治療についての意識と実態調査—地域歯科医療についての自由意見と感想の12地域別にみた KJ 法的分析—（関西学院大学社会学部紀要52号収録論文・西山・遠藤・牧「歯科医療に関する実証的考察」151頁～212頁に所収、（別途抜刷） 1986年3月
7. 労働生活の質—化学工業従業員の意識調査分析 多変量解析・数量化Ⅱ類による分析結果— [「労働生活の質」調査報告シリーズ No. 6]（非売品） 1987年3月
8. 労働生活の質—縫製工業 A 社従業員の意識調査分析 多変量解析・数量化Ⅱ類による分析結果— [「労働生活の質」調査報告シリーズ No. 7]（非売品） 1988年3月
9. 歯科患者の社会的実証研究—関西都市圏某都市の患者意識・実態調査の多変量解析—（非売品） 1989年3月

10. 学生アルバイトに関する調査研究 (No. 1) —関西学院大学社会学部学生のアバイトの実態・意識調査と意識調査結果の分析— (非売品) 1990年 3 月
11. 学生アルバイトに関する調査研究 (No. 2) —関西学院大学社会学部学生全体調査多変量解析—B 5 版91頁 (非売品) 1991年 3 月
12. 日本の歯科医師の意見と現状についての調査研究 (その 1) —3 大都市圏地域の歯科医師1,505 人の意見と実態についての集計結果と多変量解析— (非売品) 1992年 3 月
13. 日本の歯科医師の意見と現状についての調査研究 (その 2) —北海道・秋田・福井・福岡・鹿児島・沖縄 1 道 5 県の歯科医師1,184人の意見と実態についての集計結果と多変量解析— (非売品) 1993年 3 月
14. 歯科患者の社会学的実証研究—関西大都市圏 A 市の患者意識・実態調査の多変量解析— (非売品) 1994年 3 月
15. 学生アルバイトに関する調査研究 (No. 3) —中京以西アルバイト学生4,000人の実態・意識調査結果の多変量解析— (非売品) 1995年 3 月
16. 学生アルバイトに関する調査研究 (No. 4) —中京以西アルバイト学生4,000人の実態・意識調査結果の多変量解析— (非売品) 1996年 3 月
17. 学生アルバイトに関する調査研究 (No. 5) —中京以西アルバイト学生4,000人の実態・意識調査結果の多変量解析— (非売品) 1997年 3 月

西山美瑛子教授記念号によせて

社会学部長 牧 正 英

西山 美瑛子先生は、1977年4月、本大学社会学部教授にご就任されて以来、1997年3月をもって定年退職をお迎えになります。この間、20年の長きにわたってお働きをいただきました。また、同時に大学院社会学研究科博士課程前期課程指導教授として大学院の指導教育に尽くされました。学部ならびに大学院研究科一同は深い感慨を覚えるとともに、感謝の思いに満たされています。今後は、関西学院大学名誉教授として関西学院や社会学部の発展をお心にかけていただくことになります。

西山先生は、1951年九州大学（旧制）文学部哲学科社会学専攻をご卒業後、同大学院研究奨励生（社会学専攻）となられ、1957年3月、九州大学文学部研究生（社会学専攻）を終了されました。この間には福岡女子大学の非常勤講師を務められ、1958年には香蘭女子短期大学助教授となられ、その後、1962年に神戸女学院大学文学部専任講師、1963年同大学助教授を経て、1968年には関西大学社会学部助教授として、1970年には同大学社会学部教授に昇進され、1975年同大学大学院社会学研究科博士課程前期課程指導教授となられました。そして1977年に本大学社会学部教授としてお迎えいたしました。

西山先生は、1993年から1995年にかけて社会学部長の重責を担われ、また、1992年から1993年と1995年から1996年にかけて大学評議員を務められ、この間、学部の教育・研究の両面にわたって大きなお仕事をなさいました。学外活動では、日本社会学会会員、関西社会学会会員、経済社会学会会員、日本都市学会会員、日本社会福祉学会会員、日本労使関係研究協会会員、組織学会会員、日本労務学会会員、産業・組織心理学会会員、日本社会心理学会会員、日本グループ・ダイナミックス学会の会員として、学会活動に積極的に携われました。なかでも日本社会学会の教育委員会の委員を務められ、大学教育のあり方について、学問的な見地（綿密な実態調査を通して）から分析をなされました。

先生の研究領域は産業社会学であります。ミクロ研究、ソシオメトリの理論、実験的方法、インフォーマル・グループの研究等をはじめとして、産業社会の組織集団研究を社会調査研究を通して明らかにしていくといういわば理論と実践を兼ね備えた研究者であります。研究論文はこれらの点からみて大きく三つの研究分野に分かれると思われる、それぞれに優れた論文が散見できます。1957年の社会学評論の社会集団、1987年の現代社会心理学（有斐閣）の日本の小集団活動の社会的・文化的基礎、そして、1989年の女性労働者

と複線型人事管理、柔軟な労働生涯について（社会学評論）などがあげられ、また、先生の精力的な調査研究の成果は、1968年の伝統産業（灘酒造業）、1970年のダム建設の地元住民の生活実態意識調査からはじまり、鉄鋼業、紡績業の研究、そして、共同研究としては近畿都市学会の調査研究、そのほか歯科医師・患者に関する社会学的実証研究、学生アルバイトに関する実証研究等数多くあげることができます。近年では、1993年、日本労働社会学会年報に、戦後の労働調査を語ると題して、関西学院大学名誉教授萬成博先生の研究とその業績の方法論的展開について紹介されておられます。

また、先生は、1996年3月には、1995年1月未明の阪神・淡路大震災に遭遇してと題して西山ゼミ60人の体験と考察と題した冊子（非売品）を編纂され、専門の調査研究の立場からの貴重な研究の書を著わしておられます。

社会活動としては西宮市情報公開委員会委員、西宮市個人情報委員会委員、西宮市婦人問題懇話会委員、西宮市勤労者福祉委員会委員、宝塚市紛争調停委員会委員、宝塚市婦人問題懇話会委員をはじめ、現在では兵庫県労働問題懇話会委員、大阪府水道事業懇談会委員などさまざまな活動にも精力的に取り組んでこられました。

最後になりましたが先生はご自身の研究領域において常に一意専心であられ、同じ産業社会学の研究者として、学ぶことの多くあったことをここに感謝するとともに、これからのますますのご活躍とご健康を心からお祈りする次第です。